高等学校第１学年　保健体育科学習指導案

必修

１　単元名　現代社会と健康　がんの予防と回復

２　本時の目標

（１）がんのリスクを軽減し予防するためには、調和のとれた健康的な生活を続けることや、がん検診を受診することが必要であることを理解する。（知識）

（２）がんのリスクを軽減し予防するための生活や行動を考える。（思考・判断・表現）

３　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習内容 | 学習活動　「・」予想される生徒の思考 | ◇教師の指導　等 |
| 導入 | 1.がんの種類について理解する。 | ○がんにはどんな種類があるか、知っていることを発表する。・肺がん　・大腸がん　・胃がん・乳がん　・子宮頸がん　がんになるリスクを軽減し、予防するための生活や行動について考えよう。 | ◇発表後、日本の主ながんの罹患数と死亡数を提示する。 |
| 展開 | 2.がんのリスクを減らす行動を考える。3.がん検診の必要性について考える。4.がんの治療法について理解する。 | ○がんになるリスクを減らす行動を考える。＜グループ交流＞・バランスよく食べるようにしたい。・適正体重を維持したい。・将来、たばこは吸わないようにしたい。○がん検診の必要性について考える。・多くのがんは、早期に発見すれば、約９割が治る。・自覚症状がない期間に検診によって早期発見することが重要だ。○なぜがん検診の受診率が低いか考える。＜グループ交流＞・受ける時間がない、自分は大丈夫だと思う気持ちもわかるが、早期発見受診すべき。○がんになった場合の治療法について考える。＜調べ学習＞タブレットを活用して調べる。・主に化学療法、放射線療法、手術療法があり、それぞれの治療法には特徴がある。・緩和ケアというものもある。 | ◇「がんを防ぐための新１２か条」を提示する。※がんの原因は生活習慣だけでないことを押さえる。◇がんの病期別５年相対生存率のグラフを提示する。※がんの進行速度、自覚症状が現れる年数について押さえる。◇がん検診の受診率のグラフを提示する。※生涯の内、二人に一人はがんにかかることを再度押さえる。◇インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンについて説明し、自分で治療法を選択する大切さについて伝える。 |
| まとめ | 5.本時のまとめ | ○本時で学んだことをまとめる。・がん検診の必要性がわかったので、家族にも伝えたい。○次の時間、外部講師（医師やがん経験者）に聞きたいことをまとめる。・治療法の選択について詳しく知りたい。・家族ががんになったら、自分たちにできることはあるのか聞きたい。 | ◇学習内容を振り返るとともに、もっと詳しく知りたいと思った内容をまとめ、次時につなぐ。

|  |
| --- |
| 【評価基準】知識がんのリスクを軽減し予防するために必要なことをまとめている。 |

 |